

児童発達支援

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あんだんて			
○保護者評価実施期間	2026年 3月 9日		～	2026年 3月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(家庭数) 8	(回答者数)	(家庭数) 8
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		～	2026年 3月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者に児童の様子を伝え、家庭と事業所で連携して支援を行うことができるよう努めている。	送迎時の情報共有だけでなく、定期的で開催している保護者会や発表会等では実際に児童の様子を見ていただき、情報共有を行っている。	保護者同士の交流の機会をさらに増やすことで、子育ての悩み等を共有できる機会を作ることができるため、今後より増やしていきたい。
2	児童の特性に合わせて、個別対応や集団活動を行っている。徐々に集団で活動することができるように段階的な支援を行っている。	様々な資格を持った職員がいるため、児童の特性に合わせた活動を提案している。また、集団プログラムだけでなく、個別の活動も充実しており、児童の様子に合わせて個別と集団活動を切り替えることも行っている。	小集団活動が個別活動や集団活動よりも少なく、より段階的な支援を目指すために今後充実させていきたい。児童がスムーズに活動に参加できるよう工夫したいと考えている。
3	多種多様なプログラムを職員全員で考え、常に新しい活動を行うことができるよう努めている。	毎月外出プログラムを複数用意しているだけでなく、室内活動にも力を入れており、工作や室内運動を行っている。	児童や保護者からの要望を聞き、プログラム作成に活かすことができるよう工夫したい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所以外の他の児童とのかかわりの機会が少ない。	各機関との連携が取れていない部分が多く、他の施設や児童との交流ができていない。	各機関との連携を密にし、様々なイベントを計画し、交流を深めることができるよう努めたい。
2	施設や設備に不十分などがある。	施設の敷地が広い分、設備を充実させるための費用もかかる。そのため、現在も環境整備を行っているものの、未完成などがある。	去年に比べ、バリアフリー化や安全面への対策を強化したため、少しずつ改善はしている。引き続き環境を整え、児童にとって過ごしやすい場所を作っていく。
3			